

中核市に
幻想
いたくより

合併しても

中核市になりません

中核市ばかり

第2回
任意協

話題は
空論の
「市民の暮らし」「まちづくり」の論議になりました。

すてまな宇治をひへりまして

市民の暮らしを豊富の力で

中核市は保健所が設置できますが
すでに宇治には保健所があります



北京市長は医師ですが、保健所長は医師です。
北京市長は運営した方が発揮できる可能性があります。

国からのお支給金が減る
→ 住民負担が増える

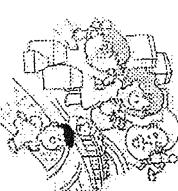


北京市長は医師ですが、保健所長は医師です。
北京市長は運営した方が発揮できる可能性があります。
北京市長は保健所長は医師ですが、保健所長は医師です。
北京市長は運営した方が発揮できる可能性があります。

「骨太方針2006」——「例えば人口20万人以上の市の半分など目標を定めて、交付税に依存しない不交付団体の増加を目指す」
事業所税——事業所床面積が計1千m²以上、または従業員100人以上の事業者に課税。黒字か赤字かは無関係に課税。

中核市になつても 住民の暮らしは向上しません

中核市になつても
財政危機を招きます
無謀な人口増加策は
人口の減少が始まること



宇治・城陽・井手・宇治田原の人口				
宇人	口	H7	H12	H17
宇治	市	184,830	189,112	189,591
城陽	市	85,398	84,346	81,636
井手	町	9,438	9,102	8,951
宇治	田原町	9,122	9,840	10,060
計		288,788	292,400	290,238
▲ 2,162				

宇治市は人口で四七九年人増で、増加幅は既に短期間に人口が一万人以上も増えます。宇治市は過去五年間で人口は減少しています。宇治市は人口が増加して人口が30万人を超える必要がありますが、それが可能ではありません。

府南部は人口が増加して人口が30万人を超える必要がありますが、それが可能ではありません。

すでに人口の減少が始まっています。



久保田・宇治市長は、2市2町の任意合併協議会を開催した後、宇治市議会全員協議会で「地方自治を設置した後、宇治市議会全員協議会で「地元議会」を示すもので、この合併協議会には大義を育てるためには、より権能のある中核市をめざすべきだと」とし、他市町の参加に期待を持たれました。2市2町が集まつただけといふことにまづくり構想はないまま、単に等と現実味のない中核市話をほどんじでした。

(合併4年後、9年後に中核市をめざす方針ももある)議論の特徴は市民の暮らしについての発言なく、

(合併4年後、9年後に中核市をめざす方針ももある)議論の特徴は市民の暮らしについての発言なく、

9月7日の任意協は、合併の基本構想が議題でした。

(8月5日付け地元紙)2市2町では中核市の人件費をタクシードアであります。2市2町が集まつただけといふこと

も理念もないことを示しています。

口要件をタクシードアであります。2市2町が集まつただけといふこと

も理念もないことを示しています。